|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **キャンピングカーチェックシート　　　www.net-camper.com**  下見のマナー　　　各装備を動作させる前には、一言確認をして行い、確認した後は、確実にもとの状態にしましょう。  　　　　　　　　　所有者立ち会いのもと、下見をしましょう。  ＜下見にあると便利なもの＞  　車体下に入るためのピクニックシート、懐中電灯、ソケット式の検電テスター、本チェックシート、バインダー、ペン、デジカメ | | |
| **装備品のチェック** | **チェクのポイント** | チェック |
| 冷蔵庫 | 冷蔵庫は、冷えるまで時間がかります。下見の前日から冷蔵庫を作動してもうこと。冷蔵庫背面のカバーを外し、大量の錆が発生していないか確認。 | ガス  AC  DC |
| FFヒーター | 夏場などの気温が高い時期のチェックは、サーモスタッドの温度を上げないと動作いないので要注意。 |  |
| ルーフエアコン  ダクトエアコン | 冬場などの気温が低い時期のチェックは、サーモスタッドの温度設定を下げないと動作しないので要注意。 |  |
| ウォーターポンプ | 各蛇口、シャワー、水洗トイレなどから一定した水圧で水が出るか。  ウォーターポンプから異音が発生していないか。 |  |
| 照明 | 全ての照明を点灯させる。バルブ切れについては、バルブを外しソケットに溶解が無いか、焦げた跡が無いか確認。 |  |
| バンクベッド（クラスC） | バンクベッドのベッドマットを外し、雨漏りがないかチェック。特に接続部の角を要注意。カビが発生している場合も雨漏りの可能性がある。 |  |
| ベッド | ベッドマット裏およびベッドマット下にカビが発生していないか確認。 |  |
| コンロ | 全てのコンロが正常に燃焼しているか。青い炎であれば正常。 |  |
| 電子レンジ | 外部電源または、発電機を作動させ正常に動作するか。 |  |
| 外部電源 | 外部電源接続時、車内のACコンセントは正常に使えるか。 |  |
| 発電機 | セルスタートはスムーズか。アイドリングにバラつきはないか。マフラから黒煙や白煙が発生していないか。正常な電圧が出力されているか。 |  |
| エントランスドア | ドアの建てつけにずれが無いか。スムーズに開閉でき、ドアロックも正常に動作するか。 |  |
| **車体部のチェック** | **チェクのポイント** |  |
| タイヤ | タイヤの編摩耗、亀裂がないか。製造年は、5年未満が望ましい。  タイヤの目は、充分あるか。 |  |
| フレームの錆 | 錆により強度が弱くなっている部分や破損している部分がないか。  スキーなどで使用した車両は、融雪剤の影響で極端に錆びている車両があるので要注意。 |  |
| マフラ | 穴が開いていないか。異音がしていないか。排気漏れがないか。白煙または、黒煙が発生していないか。 |  |
| LLC | ラジエターおよびパイプの接続部などにロングライフクーラントが漏れた跡がないか。リザーバータンクに錆やドロドロとした固形物が溜まっていないか。 |  |
| エンジンオイル | エンジンオイルキャップの裏面を確認し、カーボンやスラッジが多量に付着していないか。固形物が多量に付着している場合は、オイル管理が悪い。 |  |
| ミッションオイル | 汚れていないか。  AT車は、エンジンを始動しブレーキを踏み、シフトレバーをD~Rに動かし大きな衝撃や異音がないか。 |  |
| エアコン | エンジンをかけエアコンを作動させる。  エンジンルームのリキッドタンクやエキスパンションバルブ付近にエアコンオイル漏れがないか。 |  |
| オイル漏れ | オイルパンの接合部、ガスケット劣化などによりオイル漏れが発生していないか。  ブレーキマスターしリンダからの漏れはないか。 |  |
| 事故歴 | 鉄板ボディであれば、ボンネットやドアを開けスポット溶接の状態を確認。カーペットなどをはぐり溶接、パテなどの形跡が無いか確認。  シャーシにひずみがないか。一部分のみ新しい塗装、ボルトナットなどが使用されていないか。タイヤの前後位置なども合わせて確認。  大きな破損部がないか。 |  |
| タイミングベルト | 走行距離が10万キロ前後でタイミングベルト式のエンジンの場合、タイミングベルト交換をしているか。していない場合は、切れるとエンジンオーバーホールの大きな出費となる。 |  |
| 車両特性とアイドリング | フォードE350ベースでアイドリングが不安定な場合燃料ポンプ不良の可能性あり。  スズキキャリイトラックベース軽キャンパーでアイドリングが不安定な場合、2番シリンダーの圧縮低下の可能性あり。このエンジンは、2番シリンダーの放熱が悪くバルブ溶解による圧縮低下が発生する。この車両購入は要注意！ネットで「キャリイ　圧縮低下」で検索すると、多くの情報が出てくるので参考に。 |  |
| **試運転時のチェック** | **チェクのポイント** |  |
| 試乗する際の注意点 | 試乗時の事故が発生した場合の保険について事前に確認しておく。  現在、乗用車などで任意保険に入っていれば、「他車保険」が付帯されている場合がほとんど。自分の保険に他車保険が付帯されているか事前に確認。 |  |
| ミッション変速 | ATの場合、変速に衝撃がなくスムーズか。  マニュアル車の場合、クラッチペダルの動作は正常か。クラッチ板の摩耗や滑りがないか確認。 |  |
| メーター | 計器が正常に上がり、適正値を示しているか。メーターの針が大きくぶれていないか。大きくぶれている場合は、改ざんの可能性あり。メーター内ランプ切れが無いか。 |  |
| ハンドル | ハンドルを切った際に異音が発生していないか。  極端に重くなることがないか。 |  |
| エンジン | 始動状態は良いか。異音が発生していないか。加速にボタつきがないか。 |  |
| アイドリング | アイドリングはバラつきが無く安定しているか。 |  |
| オルタネーター | エンジン始動時に１３８V前後出力されているか。（１２V車） |  |